

## 福岡市出前講座「世界が注目!福岡市が誇るごみの埋立技術(福岡方式)」

福岡方式のゴミ処理と国際貢献 2025-02-05 19:00 ~ 20:10

この講座では、福岡方式のごみ埋立技術についての説明を受けました。福岡市と福岡大学で開発した「準好気性埋立構造」(管を入れて自然に空気が入る)は「福岡方式」と呼ばれ、メタンガス排出や廃棄物による浸出水の汚染を抑制する効果があり低コストであることから、国内の埋立場で数多く採用され、1979年に日本標準として認定されました。海外ではまずマレーシアで「福岡方式」の埋立地が建設され、世界中で普及が進み、特に発展途上国での適用が期待されています。また、国際的な貢献やゴミの分別とリサイクル、埋め立て地の維持管理についても画像や動画での説明がありました。

### 要点

- ・福岡方式のごみ埋立
- ・ゴミ処理施設の配置
- ・福岡方式の誕生と経緯
- ・ゴミ埋め立て後の土地活用
- ・浸出水の処理と改善
- ・好気性埋立構造
- ・準好気性埋立構造
- ・福岡方式の国際的な貢献
- ・ゴミの分別とリサイクル
- ・埋め立て地の維持管理

### 福岡方式のゴミ処理

福岡方式は、浸出水の水質改善とメタンガスの削減を可能にする埋め立て技術であり、環境対策として注目されています。

- **要点**

- 浸出水の水質改善
- メタンガスの削減
- コストの低減

- **説明**

福岡方式は、浸出水排水管を設置し、自然に空気を流入させることで、ゴミ層内部の微生物を活性化させ、ゴミの分解を促進します。

- **例**

1999年まで福岡方式の埋め立て場として使用されていた今津埋め立て場の跡地で、現在

は運動公園として活用されています。

- 埋め立て完了後、適切に維持・管理を継続することで早期の跡地利用が可能となります。
- 土地資源を総合的に生かせる循環型社会の構築に貢献しています。

## 福岡方式

福岡方式は、現地の資源を利用して低コストでゴミ埋め立て地を改善する技術で、特に発展途上国でのニーズが高まっています。

- **要点**

- 現地で入手可能な資材を使用
- 低コストでの改善が可能
- 火災リスクの軽減

- **説明**

福岡方式は、現地で入手可能な資材を利用し、低コストでゴミ埋め立て地を改善する技術です。特に発展途上国での適用が期待されており、火災リスクの軽減や悪臭の減少に寄与しています。

- **例**

ヤンゴン市のリンビン埋め立て場では、福岡方式を用いてゴミ埋め立て地の改善が行われ、悪臭の減少や火災の発生がなくなりました。

- 国連ハビタットや日本の NPO 法人と共同で改善を実施
- オンラインによる遠隔指導で現地スタッフを支援
- 新型コロナウイルス感染症の影響下でもプロジェクトを継続

- **留意点**

- 現地でも入手可能な資材を活用すること
- 低コストでの実施を目指すこと
- 火災リスクを軽減するための対策を講じること

- **特別な状況**

新型コロナウイルス感染症の影響で渡航が制限される場合、オンラインによる遠隔指導を活用する。